

公開

静岡社会健康医学大学院大学（仮称）検討委員会（第3回）議事次第

日時：令和2年3月11日（水）

13:50～15:00

場所：ホテルアソシア静岡

15階 ベラビスタ

○ 議 題

- (I) 静岡社会健康医学大学院大学（仮称）の開学に向けた準備について
 - 施設整備（予算、スケジュール）
 - 学生確保策（奨学金制度、広報計画等）
 - 法人の設立（定款案、評価委員会の設置）

○ 閉 会

<資 料>

議事次第

資料1	静岡社会健康医学大学院大学（仮称）検討委員会 委員名簿	1
資料2	静岡社会健康医学大学院大学（仮称）開学スケジュール（案）	2
資料3	令和2年度社会健康医学推進関連事業の予算	3
資料4	静岡社会健康医学大学院大学（仮称）開学準備委員会	4
資料5	入試・学生確保スケジュール	5
資料6	学生の安定的な確保に向けた施策について	6
資料7	公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学の設立について	8
資料8	公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 法人設立スケジュール	9

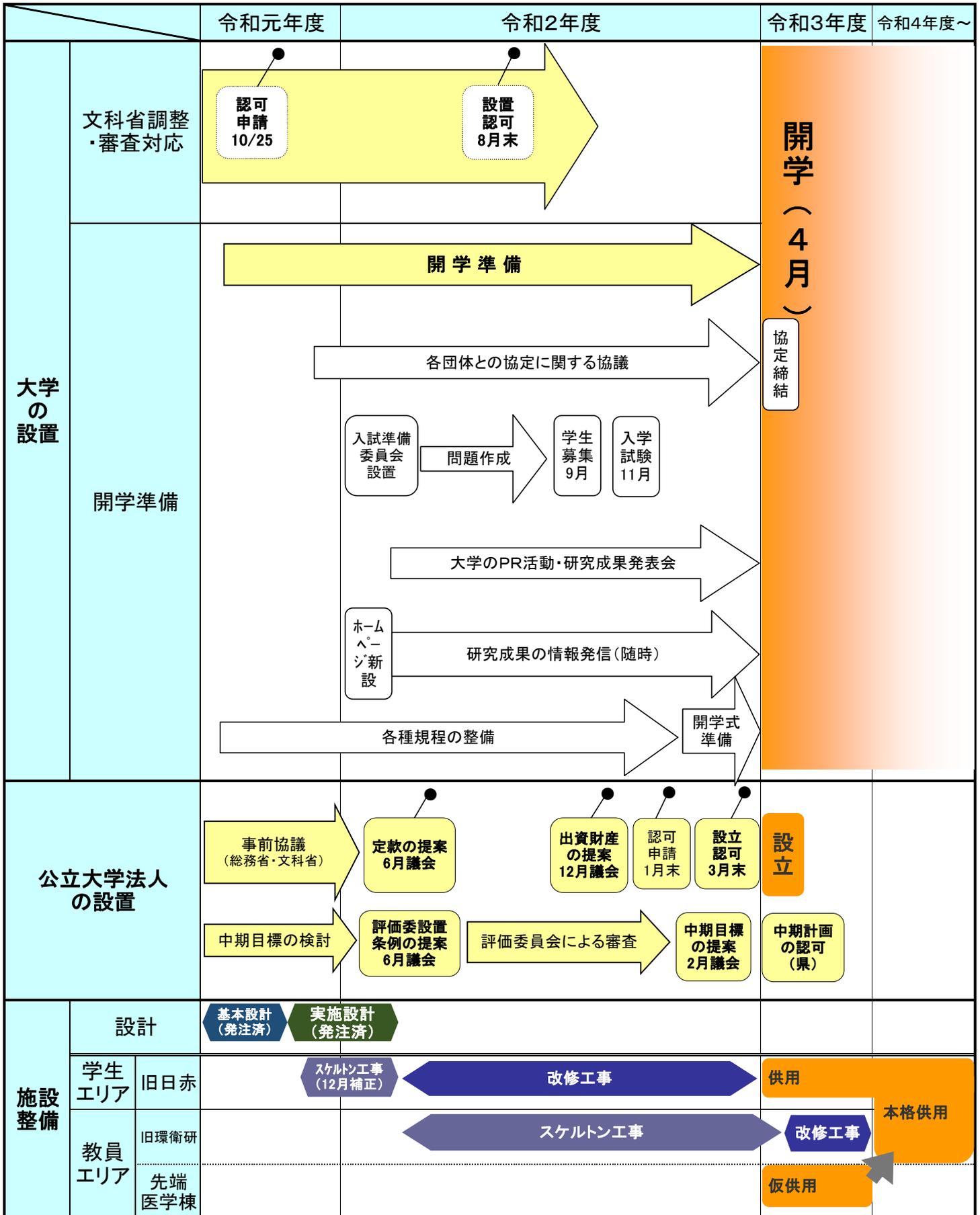
静岡社会健康医学大学院大学(仮称)検討委員会委員名簿

(敬称略、50音順)

氏名	所属・役職等	備考
ほんじよ たすく 本庶 佑	京都大学高等研究院副院長、特別教授	委員長
きとう ひろし 鬼頭 宏	静岡県立大学学長	
さこ よしやす 佐古 伊康	しずおか健康長寿財団理事長	
たなか いっせい 田中 一成	静岡県立病院機構理事長	
とくなが こうじ 徳永 宏司	静岡県医師会副会長	
なかやま たけお 中山 健夫	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野教授	
まつだ ふみひこ 松田 文彦	京都大学大学院医学研究科 附属ゲノム医学センター センター長・教授	
みやた ひろあき 宮田 裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授 東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座特任教授 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター 国際保健システム・イノベーション研究科研究科長	(欠席)
みやち よしき 宮地 良樹	静岡県立総合病院参与兼リハビリテーションセンター長 (京都大学名誉教授)	
もちづき りつこ 望月 律子	常葉大学健康科学部看護学科在宅看護学特任教授	
やまもと せいじ 山本 清二	浜松医科大学理事(教育・産学連携担当)・副学長	(欠席)
やまもと としひろ 山本 敏博	静岡県社会福祉法人経営者協議会会長	(欠席)

計12名

静岡社会健康医学大学院大学(仮称)開学スケジュール(案)



事業名	社会健康医学推進関連事業費	予算額	R 2	948,000 千円	担当課(室)	健康福祉政策課 (内線 2302)
			R元	334,000 千円 (2月補正 1,119,000 千円)		

1 事業目的

県民の健康寿命の更なる延伸のため、社会健康医学研究推進基本計画に基づく研究を推進するとともに、大学院大学の令和3年4月開学に向けた準備を行う。

2 事業概要

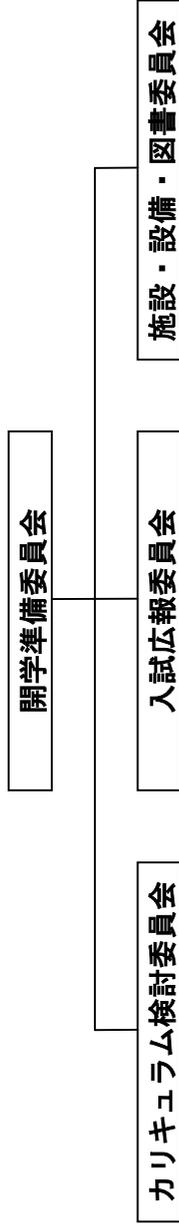
(単位：千円)

区分	内容	予算額		
			R元 2月 (国補正)	R2 当初
社会健康医学研究推進事業費		623,000	-	623,000
研究推進	・委託研究（ビッグデータ、疫学、ゲノムコホート） ・シンポジウムの開催			
大学設置・法人設立	・認可申請事務 ・有識者会議の開催			
開学準備	・入試、学生募集関係事務 ・学内システム整備			
社会健康医学大学院大学整備事業費		1,444,000	1,119,000	325,000 (R3 債務 2,565,000)
設計・工事	・既存施設の改修 ・備品、図書整備			
計		2,067,000	1,119,000	948,000

3 施設整備スケジュール

区分	R元	R 2	R 3	R 4
旧静岡県赤十字血液センター		スルトン工事 → 改修工事	<開学> ●供用開始	
環境衛生科学研究所		スルトン工事 →	改修工事 →	●供用開始

静岡社会健康医学大学院大学（仮称） 開学準備委員会



【内容】

名称（仮称）	開学準備委員会	カリキュラム検討委員会	入試広報委員会	施設・設備・図書委員会
R 2 検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ○開学に係る諸事項の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・教務、学務の決定 ・入学者の決定 ・施設、設備、図書の決定 ・法人運営の方針決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○教務、学務の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習の準備 ・実習計画の作成 ・教務、学務関係規程の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの作成 ○オープンキャンパス、大学説明会の企画 ○募集要項、入試問題の作成 ○入試の運営、監督、採点 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設整備計画の検討 ○整備する備品リストの検討 ○購入する図書目録の検討
実施頻度	年 6 回程度	全体会年 3 回程度 分科会年 3 回程度	年 6 回程度	年 3 回程度 (上期に集中して実施)
構成員 (◎は責任者)	3 名 ◎学長候補者 ・ 研究科長候補者 ・ アドバイザー	全体会：10 名、分科会：3 名 ◎学長候補者 ・ 研究科長候補者 ・ 領域長候補者（7 名） ・ アドバイザー ＜分科会＞ ◎領域長候補者（1 名） ・ 専任教員候補者（2 名） ※非常勤講師候補者（必要に応じて）	9 名 ◎研究科長候補者 ・ 領域長候補者（7 名） ・ アドバイザー	8 名 ◎研究科長候補者 ・ 領域長候補者（7 名）

入試・学生確保スケジュール

年 月	全 体	委員会				入学試験	学生勧誘	協定・支援制度
		開学	カリキュラム	入試	施設			
R 2	4	○	○	①	○	①入試広報委員会正式立上げ、問題案検討	ホームページ作成	協定を締結する病院、大学等に個別訪問
	5						大学案内作成 大学ロゴ公募	
	6		○	②	○	②募集要項、問題案検討		
	7	○		③		③募集要項、問題案検討	大学ロゴ決定	
	8		○	④	○	④募集要項決定、問題案検討	オープンキャンパス開催 (2日間) 新聞特集記事	支援制度の予算計上 (9月補正予算)
	9	○				募集開始	大学説明会開催 (東、中、西の3会場)	
	10		○	⑤		⑤問題決定、判定方法検討	県民シンポジウム	
	11	○		⑥		入試(一般・推薦) ⑥採点、入学者選抜		
	12		○			合格発表 出資財産の議決		
R 3	1	○				公立大学法人設立認可申請		
	2		○	※		入試(予備) ※採点、入学者選抜		
	3	○				設置検討委員会 公立大学法人設立認可	県民シンポジウム	
	4					開学		協定締結

学生の安定的な確保に向けた施策について

1 概要

確実に定員を確保していくとともに、優秀な学生の確保に向けた支援策が必要

2 対応（案）

(1) 市町・病院等に対し職員派遣を依頼

(2) 図書（教科書）の貸与

(3) 奨学金制度等の検討

3 奨学金制度等の検討

(1) 制度間比較

区分	減免	給付型奨学金	貸与型奨学金
対象者	経済的困窮者 又は成績優秀者 (一部の学生)	成績優秀者 又は経済的困窮者 (一部の学生)	全ての学生
県内従事促進	効果薄 (強制困難)	効果薄 (強制困難)	県内勤務を返済免除要件の一つ とすることで県内従事促進可能

(2) 貸与型奨学金とした場合の目的・対象者・事業主体

主な目的	大学院大学の学生の確保	健康寿命の延伸に資する人材の育成	
考え方	優秀な学生確保策として 本学限定	県の施策として、健康寿命の延伸のための人材を 幅広く育成	
具体的対象者	静岡社会健康医学 大学院大学生	静岡社会健康医学 大学院大学生	本学を含む県が指定する公衆衛生 大学院生(国内20大学院程度)
主体	大学	県	
課題	—	本学生のみを対象とする理由	人材育成のために大学院大学を 新設する施策との整合性

※以下の項目等については今後検討していく。

- ・貸与額、貸付利子
- ・返済免除要件

【例】・大学院を修了（MPH 取得）かつ県内施設での一定期間の勤務
・大学院での研究成果を何らかの形で県内住民へ還元していること など

県内医療・福祉機関等への就業促進のための修学貸付制度

区分		医学修学 研修資金	看護職員修学資金			介護福祉士 修学資金	保育士 修学資金
事業開始		平成 19 年	昭和 37 年			平成 5 年	平成 28 年
対象者		医学生等	保健・助産・看護・准看護学生、 看護院生（修士）			指定介護福 祉士養成施 設在学生	指定保育士 養成施設在 学生
貸 与 額	月額	20 万円	公立	保・助・看	32,000 円	5 万円	5 万円 (最大2年間)
				准看	15,000 円		
			私立	保・助・看	36,000 円		
				准看	21,000 円		
	大学院 (修士)	国内	83,000 円				
国外		200,000 円					
その他	—	—			入学準備金：20 万円 就職準備金：20 万円 生活費加算： 最大 3.8 万円/月 試験対策費：4 万円	入学準備金：20 万円 就職準備金：20 万円 生活費加算： 最大 3.8 万円/月	
貸付利子		有利子 (年 10%)	無利子			無利子	無利子
返還免除となる勤務期間 (県指定機関に限る)		貸与期間 の 1.5 倍	5 年間			継続 5 年間	5 年間
貸与 実績 (H30)	新規	115 人	84 人			34 人	176 人
	継続	239 人	98 人			58 人	117 人
	計	354 人	182 人			92 人	293 人
	貸与 額	849,600 千円	83,804 千円			71,489 千円	210,632 千円
財源		県	県（返還金含む）			国 9/10 県 1/10	国 9/10 県 1/10 (政令市は県 6/100、 市 4/100)

※その他、県内病院や市町独自の貸与制度あり

(県立病院機構・静岡がんセンターは、月額 5 万円・貸与期間と同期間勤務で返還免除)

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学の設立について

1 定款（案）の概要

（1）役員

理事長、副理事長、理事、監事

（2）理事会、審議会の構成員及び審議事項

項目	構成員	審議事項
理事会	理事長、副理事長、理事	法人全体の重要事項を審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中期目標に対する知事への意見 ・ 知事の認可・承認を受ける事項 ・ 重要な規程の制定、改廃 等
経営審議会	理事長、副理事長、 理事長が指名する理事等、 学外者	法人の経営に関する重要事項を審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の作成及び決算に関する事項 ・ 役員報酬及び職員給与基準など経営に係る規程の制定、改廃 等
教育研究 審議会	学長、副理事長、副学長、 学長が指名する理事等、 教育研究上の重要な組織の 長、学外者	大学の教育研究に関する重要事項を審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の編成、学生の入学及び学位の授与に関する方針 ・ 学則その他教育研究に係る規程の制定、改廃 等

（3）資本金

法人の資本金は、静岡県が出資する資産の価額（土地を出資）

2 評価委員会（案）の概要

（1）主な業務内容

- ・ 知事による中期目標の作成における意見
- ・ 法人の各事業年度における業務実績についての評価

（2）組織及び委員等

- ・ 経営、教育研究又は医療に関し学識経験のある者のうちから知事が任命
- ・ 5人以内、任期2年（再任可）

<委員の構成>

選任分野	期待される役割（視点）
企業経営	法人の運営における中長期的な経営ビジョンなど企業経営の視点
大学教育・研究	大学運営や教育・研究等に関する幅広い視点
健康施策	大学における研究成果と県全体の社会健康医学の推進との整合、効果検証及び改善の視点
医療	社会健康医学研究における病院（医学分野）との連携の視点
財務分析	法人の財務諸表の分析、内部統制や業務運営の改善等の視点

（3）開催回数（予定）

令和2年度（4回）、令和3年度（3回）

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 法人設立スケジュール

時期		法人設立		評価委員会
		定款	出資（土地）	
R 2	4月		出資財産鑑定評価	
	5月			
	6月	定款の提案		評価委員会条例の提案
	7月	役員等人選		委員任命 評価委員会開催
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月		出資財産の提案	
R 3	1月	法人設立認可申請		
	2月			中期目標の提案
	3月	法人設立認可		
	4月	法人登記	土地所有権移転登記	